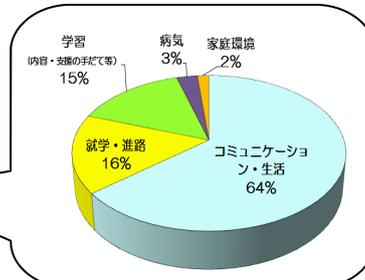
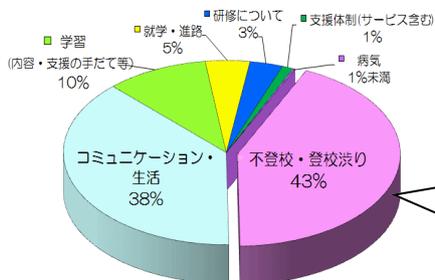


平成24年度の実施状況と相談傾向 (12月末集計)

新規相談件数 114件、延べ相談件数 525件



不登校支援研修会への御参加、ありがとうございました。

テーマ 「不登校への理解と支援の実際」
～ 読み書き障害を併せ持つ事例をもとに～

小中高校・特別支援学校・適応指導教室・市町教育委員会・その他関係機関から58名の参加がありました。多くの方から感想も寄せていただきました。

<参加者アンケート提出 47人>

- ・すぐに実践に生かせる (9人)
- ・参考になった (36人)
- ・あまり参考にならなかった (0人)
- ・記載なし (2人)

講師 作業療法士 松島 佳苗 氏

発達障害を背景とした不登校の児童生徒の中に、読み書きの苦手さに気づかれないままにいる相談事例に出会います。特に「読み書き障害」や「注意の集中困難」な児童生徒に対して、感覚統合の視点によるアセスメントの方法、具体的な支援のあり方について、実際のビデオや読み検査の様子を紹介しました。感覚統合の視点のアセスメントから早期に学校での支援につながり、保健室を拠点にしながら毎日登校できるようになった事例について検討しました。

<参加者の感想より>

事例や質問のお話を聞いていて、支援するにあたって判断の難しいケースが少なからずあると感じました。先生方の工夫ある取り組みによって、登校できるようになったケースを聞いたことも参考になりました。

事例をもとに、視覚機能検査、読み書き検査、補う支援、伸ばす支援、役割の提供、読み書き指導、関わり方、相談・支援の方法など、細部について学ぶことができ、ありがとうございました。

「読み書き障害」を持っているのでは？と疑われても、検査や相談機関へつなぐことが担任だけの力では難しいので、事例のように、まなび・生活アドバイザーの方がしっかり動いて下さるのはありがたいと思います

「読み書き障害」へのアセスメントがまだまだできず、支援につなげられない勉強不足を実感しました。作業療法からの「読み書き障害」へのアプローチは、大変参考になりました。

平成25年度
特別支援教育研修会

日時 平成25年7月26日(金)
会場 文化パルク城陽 ふれあいホール
定員 250名

来年度も実施します!! 詳細は6月にお知らせします。